



ベトナムの漁船は木造だ。各船、4本の竿を海に張り出してマグロを狙う



漁獲機具を取り付けた船の引き渡しセレモニー。サン国家主席(左)と握手を交わす加藤さん

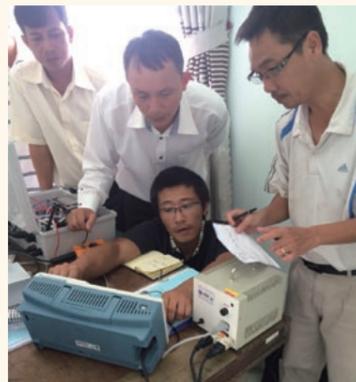


漁船に取り付けられたホーム(左)とツナショッカー(下)。加藤均総合事務所は、これらの機具の注文を現地から受ける窓口となり、普及を目指す



「コーレン」がプロジェクトの合言葉です。ベトナム語でがんばろう、という意味で、ビンディン省水産部の職員や、乗組員の漁民たちと「コーレン、コーレン！」と声を掛け合いながら励んでいます。そう語る加藤さんの今の夢は、「ビンディンマグロ」のブランド化だ。

日本の生鮮市場に、高品質ビンディンマグロが並ぶ日はそう遠くないだろう。



乗組員の研修の様子。これからは船上の作業だけでなく、機具のメンテナンスなども習得しなければならない

最初に使節団を送ってきたのは2012年のこと。訪問は計3回にわたった。その熱意に動かされ、地元や関西の水産関連企業を集め、ベトナム総領事館と共催で水産セミナーの開催を企画した中心人物が、株式会社加藤均総合事務所(加藤浩輔さん)だ。

「実は、当社の本業はビルのメンテナンス事業で、水産業は専門ではありません」。加藤さんはそう笑うが、同社の会長はNPO法人日越界友好協会の理事長を務めるなど、ベトナムとの間には長年の友好と厚い信頼関係がある。そうした経緯から、同社を中心に、セミナーに参加した水産物の卸

売・販売業社などとの連携の下、支援の計画が動き出したのだ。

鮮度の維持に生きる日本の漁獲機具と技術

プロジェクトの焦点は、釣り針に掛かったマグロをいかに損傷の少ない状態で釣り上げ、その後も鮮度を保ち続けるかという点にある。これらを可能にするのが、漁獲機具の供与と適切な漁獲技術の移転をパッケージ化した「ツナシヨッカーシステム」だ。

ツナシヨッカーとは、漁獲時にマグロに電気ショックを与える装置で、これを使って魚をおとなしくさせ、身が傷つくことを防ぐ。

さらに、「ホーム」と呼ばれる釣り糸の巻き上げ機も導入し、マグロや漁具にかかる負荷を調整しながら適切に釣り上げる技術を伝えている。

これら漁獲機具の扱い方の指導に加えて、特に重要なのが、釣り上げたマグロの鮮度を保つための日本式鮮魚マグロの処理方法だ。船の上に引き上げたマグロは、身の色の劣化や腐敗を防ぐため、素早く血抜きし、内臓を取り除くなど、一連の処理工程を5分以内に終えなければならない。処理後は、船の床下に備え付けられた魚倉で、帰港まで最大8日間ほど冷蔵保存する。日本の漁師が100年

にわたり培ってきたこの技術をもつてすれば、鮮度とうま味を維持することができるのだ。

「鮮度を保つためには、船の上だけでなく、水揚げされた後に水産工場で行う、洗浄・氷を詰めるなどの作業も大切だ」と加藤さんは言う。プロジェクトでは乗組員の研修だけでなく、品質チェック員を育成すべく、鹿児島大学水産学部との連携の下、省の水産技術者を日本に招いて研修を実施。大学では科学的な観点から品質管理を学ぶ一方、大阪の中央卸売市場の卸売りと仲卸業者などの協力を得て、実地研修も行った。

ベトナムのマグロ加工品から鮮魚へ

昨年10月31日、25隻の漁船が一斉にベトナムのビンディン省、クイニン港を出港した。それぞれ船長を含む7、8人の乗組員を乗せ、漁船は約20日間の長い漁に出る。狙いはキハダマグロだ。

付加価値の高い生鮮品としてベトナム産のマグロを世界に売り出すため、JICAの協力の下、昨年9月からこれらの船に漁獲機具を備え付け、乗組員の研修を重ねてきた。この日は、資機材を完備した漁船のお披露目の日。引き渡し式を終え、いよいよその成果が試される時が来たのだ。

ベトナムは、世界第3位のマグロ輸出国。しかし、釣り上げられる際に激しく抵抗したマグロは、表面に多くの傷が付くだけでなく、暴れ回ることによって体温が50度近くまで上がり、自分自身の熱で身が白く変色してしまう。この「身焼け」を起こしたマグロは、缶詰などの加工品としてしか売ることができないのだ。

ベトナムの主要なマグロ水揚げ地域であるビンディン省の知事が、「生鮮マグロ市場に見合う品質のマグロを輸出できるよう協力してほしい」と、大阪府の堺市に



ビンディンマグロのブランド化に向け、品質チェックの基準作りを行う予定だ



ビンディンマグロは冷蔵車で港から45分の空港に運ばれ、世界に届けられる

ベトナムの生鮮マグロを世界の食卓に!

キハダマグロの年間漁獲実績で約1万トンを超えるベトナム。水揚げされたマグロのほとんどは加工して輸出されている。世界にベトナムの生鮮マグロを届けたい——。同国の夢の実現に向けて、日本は漁獲技術の向上を支援する取り組みに乗り出した。



from ベトナム
Viet Nam

